

Gtk にちょっと手をだしてみました。  
Xlib はもうこりごりで、Qt を少しかじってみたのですが、  
やっぱり C++ はちょっと ... と思い Gtk におちつきました。  
同程度の規模のものを書いて思ったことですが、  
ツールキットとしては Qt の方が使い良いようです。  
Gtk も内部で、階層化されたりいたり、いろいろ隠蔽してくれていたりで、  
Xlib を自分でたたくよりかはすっきりと書けるのですが、  
C++ な Qt はもっとすっきり書ける感じです。  
まあ、C と C++ の違い、そのままかもしれませんが。  
内部構造はべつとして、Gtk においては、gtk-config の存在が大きいですね。  
Qt にも似たようなものがあるみたいですが、標準ではなかったような ...?  
とりあえず、Makefile に `gtk-config --cflags` なんて書けますし。  
この便利さは捨てがたいですね。  
まあ、最初から include パスが通しやすければいいのですがけどね。  
さて、あとは好きずきでしょうけど、最近の事情を鑑みると  
Gtk なら Qt よりも楽に、他の人にほいと渡せるかもしれません。  
FreeBSD や NetBSD な場合には、たいして変わりませんけど。